

<一日開催> 家庭教育支援事業（夏休み企画）

令和8年8月8日（土）

参加者数 17名（うち児童11名）



「夏休み埴生こどもカレッジ」



埴生公民館では、夏休み期間中の小学生を対象として毎年開催している「夏休み埴生こどもカレッジ」を、今年度は内容も充実した上で、1日での開催としました。

午前中の1・2時間目の『**チャレンジ！おかしの株式会社**』は、J-FLEC講師の原先生の下、お金や経済の仕組みを映像やテキストで学びながら、最終的にはグループワークでテーブルごとに「お菓子の商品づくり」を行いました。

保護者の方にもサポートしていただきながら、どうしたら売れるお菓子になるのか、特徴やパッケージデザインなどのアイデアを出しながら作り上げていきました。グループごとにお菓子の商品をプレゼンし、どこのグループの商品に投資するかを話し合い、お金と株式を交換するなど経済の仕組みの一部を学ぶ内容でした。



アイデアを出しあっています



完成した商品のプレゼン中！

午前の3限目は、昨年に引き続き、栄養士の酒井貴子先生をお迎えして、『**ミックスサンドイッチ作り**』を行いました。火を使わずに家庭でも簡単にでき、栄養バランスがとれるサンドイッチは参加者にとっても好評でした。親子や友達と協力して作業している姿はとても微笑ましかったです。



<一日開催> 家庭教育支援事業（夏休み企画）

昼食休憩後は、講堂に移動して、4限目となる『**ポッチャ体験**』を行いました。せっかくの機会なので、児童だけでなく、保護者も一緒になってチームにわかれ、はじめてのポッチャ体験をしました！最初は思う所に投げられなかったボールも何回か投げているうちにジャックボール近くに投げられるようになり、時折「ナイスポッチャ！」の声も聞こえてきました。



軽運動をしたあとは、地域の方とのつながりをもつきっかけ作りの一環で5限目は『**地域の方に勉強を教えてもらおう！**』を行いました。自宅からもってきた夏休み帳を地域にお住いの教員OBの宮坂さん、小林さんに優しく教えてもらいながら自主勉強をすすめていました。途中事務局の職員も指導に熱がはいり、ホワイトボードを使いながら算数を図式化して解説する姿も…

自宅だとなかなか進まない勉強も、普段とは違う環境で友達や先生に教えてもらいながら順調に進められたようです。

疲れも見えはじめた6限目は、県の国際交流員のヘンダーソン・ギブ・ジョージアナさんをお迎えし、出身地の『**イングランドの文化**』などを、映像を交えてご紹介いただきました。ちょうどおやつの時間だったので、イングランドの伝統お菓子の「ショートブレッド」をいただきました！

イングランド発祥のスポーツのクイズや、英語で会場にあるものを探すゲームなどを行い、英語や文化の理解が少しは進んだのではないかと思います。



イングランドの伝統衣装などを紹介

久しぶりの1日の開催でしたが、参加者からは「1日中楽しくあっという間の1日でした。」「内容の濃いもので良い経験となった。」などの感想をいただきました。

来年度は工作など内容も取り入れて開催予定なのでぜひご参加ください